

◆ 石巻市震災復興推進会議での提案等に対する取り組み状況について（追加分）

	質問事項・意見等	回答欄	担当課
1	<p>＜震災住宅建設に地元木材の使用を＞</p> <p>震災から時間の経過とともにインフラ整備が順調になり、住宅建設が急ピッチで進み、被災地、内陸損壊地、老朽化住宅改築と空前の建築ラッシュの到来ですが、奇妙なことに市内を見渡しても伐採した山林が見当たらない。</p> <p>震災で無傷で残ったのは山林であり、そこは被災者の山でもあり住民の山である。</p> <p>この山の木材が住宅復興の礎になれば被災者の収入増と復興意欲増進につながる相乗効果も期待される。</p> <p>地元材使用を推進すべきであり阻害している原因は何か、又、ハウスメーカー等関係先に使用促進の対策はあるのか建築戸数及び想定される使用量も併せて伺いたい。</p>	<p>地域産材を活用するための間伐等につきましては、本年度も民有林、国有林併せ、約130haの山林で実施し、合板をはじめとする建築用資材等に活用されております。</p> <p>また、宮城県では戸建て住宅新築の際、一定量以上の県産材を利用することにより補助を行う「県産材利用エコ住宅普及促進事業」を実施しておりますことから、当制度の活用について周知するなど、地域産材の利用について推進して参りたいと考えております。</p> <p>木造の復興公営住宅については、半島沿岸部で750戸、また市街地でも地域特性に応じて、戸建てや長屋住宅を計画している。</p> <p>戸建、長屋住宅については、木造を基本と考えており、地元産材の活用とともに地元建設業者の受注機会の拡大を検討しており、今後とも地元産材の活用について検討を深めてまいりたい。</p>	<p>産業部 農林課</p> <p>復興事業部 復興住宅課</p>